



こおりやま 市議会だより



第213号 - 令和7年6月定例会 -



議場を優しく包み込む旋律
～ 第144回ホールコンサートin 郡山市議会 ～

【2頁 特集】

市民に身近な 開かれた議会を目指して!

【20頁】

議会モニターを募集します!

この議会だよりは、リサイクル可能です。読み終えた後は、資源回収などへ、リサイクルしてください。

主な掲載内容

特集	2頁
6月定例会の概要	3頁
代表質問・市政一般質問	5頁
議会PDCAサイクル	16頁
議員表彰・議場見学	17頁
政務活動費	18、19頁
9月定例会開催予定	19頁
議会モニター募集	20頁

市民に身近な開かれた議会を目指して！

特集

これまで郡山市議会では、議会報告会や意見交換会、議会中継におけるリアルタイムでの字幕表示など、積極的な取り組みを行ってきました。

今年度は、6月定例会から中継方法をYouTubeによる配信に変更しました。

議会中継におけるYouTube配信の特徴！

◇ 議会映像がより鮮明に

アナログ映像からデジタル映像となり、より鮮明な画質で視聴できます。



◇ 議会中継の見逃しにも即対応

ライブ配信終了後、タイムラグなく、その日のうちに、アーカイブの視聴ができます。



◇ 議会がさらに身近に

スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み取ると、配信ページに簡単にアクセスでき、手軽に議会中継が視聴できます。

YouTubeで配信中!



次の100年に向け新たな歩みを

郡山市議会は昨年100周年を迎え、次の100年に向け、新たな歴史を歩み始めました。

これまでの100年、議員一丸となって、市民の皆様の負託に応えるよう尽力してまいりました。

昨年9月には、郡山市議会100周年を記念して、議場コンサートを開催するなど、市民に開かれた議事を推進しています。

また、よりわかりやすい議会情報の発信にも努め、本年5月に開催された中核市議会議長会の議会報コンクールでは、優秀賞を受賞し、その成果を高く評価いただきました。

本定例会においても、次の100年を歩み始める契機として、初日の本会議開会前に、「第144回ホールコンサートin郡山市議会」と題したコンサートを、議場において開催し、多くの市民の方々に御来場いただいたところであります。

今後におきましても、これまで以上に、多くの市民の皆様にご覧いただき、議会を身近に感じていただけるよう、開かれた議会運営に取り組んでまいります。 郡山市議会 議長 佐藤 政喜



広聴広報委員会の運営について報告を受ける佐藤議長と廣田副議長

令和7年度議会報告会、11月9日(日)に議場で開催決定!詳細は、市議会だよりの次回号でお知らせします。

令和7年6月定例会の概要

郡山駅西口ロータリーの改修等に要する経費を含む 一般会計補正予算(第2号) など議案33件、議案案 3件を可決

6月定例会を6月13日から7月2日までの20日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、市議会委員会条例の一部を改正する条例の議案案を全会一致で可決した後、市長が所信表明及び提出議案の提案理由を述べ、副市長の選任など人事案件4件に全会一致で同意しました。19日と20日は、会派を代表し7人の議員が代表質問を行い、23日から26日までは、13人の議員が市政一般質問を行いました。

27日と30日は、各常任委員会、付託された議案27件と請願6件を審査しました。最終日となる7月2日の本会議では、各常任委員会の審査結果報告を受けた後、2人

の議員から賛成・反対の討論がありました。

その後、採決を行い、議案23件と請願1件を全会一致で可決・承認・採択したほか、議案4件と請願1件を賛成多数で可決・採択、請願4件を賛成少数で不採択としました。

また、追加提出の人事案件2件に全会一致で同意した後、7月20日に任期満了となる市選挙管理委員会選挙管理委員と補充員の選挙を行いました。

さらに、「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の議案案を全会一致で、地方財政の充実・強化を求める意見書の議案案を賛成多数で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政

問 庁舎費に関し、電話機に通話録音装置を賃貸借で導入することとであるが、導入する目的と設置場所は。

答 職員の電話対応に係る品質の向上と、トラブルの防止を目的として、市役所本庁舎及び西庁舎にある全ての外部から掛かってくる電話機に設置することとしている。

環境経済

問 本年2月の大雪による農業施設の被害実数と被害額は。

答 被害実数は、湖南町10件、熱海町4件、逢瀬町2件の計16件であり、内訳は、農業用パイプハウス14棟、ワイン用ブドウ垣根資材1件、堆肥倉庫1棟である。

また、県の被害額評価を基に算出した被害額は371万円となる。

建設水道

問 亀田川改修工事の具体的な内容は。

答 準用河川亀田川は、現在河床の低下が見られるため、ブロックを敷き、洗堀※により河床が下がらないようにする護床工の設置を行うとともに、護岸を保護するための改修工事を進める予定である。

文教福祉

問 国の重点支援地方交付金の活用先を「0歳児を養育する人への給付」とした理由は。また、申請が必要な人の申請漏れを防ぐ方策は。

答 物価高騰対応策として、出産により家族が増える子育て世帯への生活支援とした。申請については、出生・転入の届出時に案内するほか、広報紙等様々な媒体で周知する。

※洗堀：水の流れや波の影響により、河岸・河床の土砂が洗い流されること。

賛否が分かれた議案等

賛成は「○」、反対は「×」と表記しています。



議案等に対する
各議員の賛否



請願文書

件名	議決結果	会派の賛否（議長を除く。）										
		志 翔 会 10人	新 政 会 9人	郡 山 市 議 会 公 明 党 4人	緑 風 会 4人	自 由 民 主 党 郡 山 市 議 団 3人	日 本 共 産 党 郡 山 市 議 団 2人	立 憲 民 主 党 郡 山 2人	無 所 属 の 会 1人	立 憲 民 主 党 1人	れ い わ 新 選 組 1人	
補正予算	一般会計(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
	国民健康保険特別会計(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
条例改正	郡山市国民健康保険税条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願	軽度・中等度の難聴者への支援を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	「消費税率5%への減税を求める意見書」の提出について	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○
	「インボイス制度廃止をもとめる意見書」の提出について	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
	米の安定供給と国内農業支援政策の実現を求める意見書の提出に関する請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
議会案	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

欠席：郡山市議会公明党1名

本市議会では、採決時に賛成反対いずれの意思表示もしない場合は、反対したものとみなされます。

全会一致で可決した議案等

補正予算	一般会計(第3号)	その他	工事請負契約(郡山市河内埋立処分場第二污水处理施設長寿命化工事、準用河川徳定川改修工事、校舎長寿命化改修事業(大成小、小山田小)、屋内運動場長寿命化改修事業(安積第一小)) 財産の取得(テント式パーテーション、消防ポンプ自動車、排水ポンプ自動車、気化熱冷風機) 財産の処分(土地) 福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更 専決処分の承認を求めること 郡山市副市長の選任 郡山市教育委員会教育長の任命 郡山市監査委員の選任 郡山市公平委員会委員の選任 郡山市固定資産評価審査委員会委員の選任			
	介護保険特別会計(第1号)					
条例制定	郡山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例					
	郡山市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例					
条例改正	郡山市職員の育児休業等に関する条例等					
	郡山市税条例					
	郡山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び郡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例					
	郡山市放課後児童クラブ条例					
	郡山市上下水道事業の設置等に関する条例					
	郡山市議会議員及び郡山市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例					
	郡山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例					
	議会案			郡山市議会委員会条例	請願	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書
					議会案	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

令和7年6月定例会

●掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。また、掲載項目は質問者間で重複しないよう調整しています。

●記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、配信動画や会議録を御覧ください。

●配信動画

各記事のQRコードから、配信動画（郡山市議会公式YouTubeチャンネル）が御覧いただけます。

●会議録

市議会ウェブページや市政情報センター（市役所本庁舎1階）、中央図書館、希望ヶ丘図書館、安積図書館、富久山図書館で御覧いただけます。

なお、令和7年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム

代表質問

会派（所属議員2名以上）を代表する議員が行う、市長の市政方針と提案理由に対する質問をいいます。質問者数7名

市政一般質問

議員が各定例会で行う市政に対する質問をいいます。質問者数13名

代表質問



志翔会

近内こんない

利男としお

議員



中田町小中学校の統合に向けた取組み・支援について

問

中田町の要望を受け、小中学校の統合に向けた取組み及び受け入れ先の緑ヶ丘第一小学校、緑ヶ丘中学校への支援はどう考えているのか。

答

要望書を受け、2027年4月に宮城小学校・海老根小学校・御館小学校を緑ヶ丘第一小学校に、宮城中学校・御館中学校を緑ヶ丘中学校に統合する準備を進めている。今後は保護者、地域住民等への説明会にて、意見を十分に聞き丁寧に対応していく。

また、受け入れ校への支援

については、要望を踏まえ、必要な予算を次年度に計上していく。



宮城小学校

町内会の集会所について

問

老朽化した集会所の解体のため、市集会所整備費補助の補助対象に解体費用を加え、町内会等の負担を軽減すべきと考えるが見解は。

答

解体費用の補助制度の新設については、少子高齢化の進展等に伴う町内会活動の縮小といった環境の変化はもとより、老朽化に伴う倒壊の防止や空き家としての防犯上の懸念等、セーフコミュニティを推進する本市としても重要な課題と認識している。

このことから、先進自治体の事例を参考にするとともに町内会等の意向把握や、必要な財源の確保等についても整理しながら、現在、具体的な補助スキームの検討を進めている。

代表質問



新 政 会
折 笠 正 議 員
おりかさ ただし



「明日への責任3つの約束」
について

問 市長選出馬に際し表明した3つの約束※を、今後どのように取り組む考えなのか。

答 一つ目※¹は、郡山駅西口の交通渋滞対策や、旧豊田貯水池跡地等の地域資源の利活用を通じ、住む人が誇りを持ち、訪れる人に感動してもらえるまちを目指していく。

二つ目※²は、子育て世代への支援、障がいのある人々への包括的支援、高齢者の移動手段の確保や防災体制の維持等、社会基盤を構築していく。三つ目※³は、地元企業への支援、医療機関の機能強化、農業の担い手育成やブランド化支援等を通じて経済基盤の強化を図っていく。

※1 「魅力と個性が際立つ世界に誇れるまちづくり」、※2 「誰ひとり取り残されることのない社会の実現」、※3 「地元中小企業・民間医療機関・農業・地域経済への支援」

「仮称」6次産業化・農工商等
連携推進計画」について

問 農商工部が本年度策定する、当該計画の基本方針と今後どう発展させていくのか。

答 策定予定の計画においては、食と農に関わる地域経済の持続的な発展を見据え、地域内外の多様な関係者が参画するプラットフォームの構築と、食の新たなイノベーションを誘発する、地域一体となった面的な取組みを推進する。

併せて、商工会議所等との連携を強化し、事業者の掘り起こしを行うほか、生産者と商工業者や飲食店等とのマッチングも進め、本市農産物の付加価値向上と国内外への販路拡大を支援していく。



果樹農業6次産業化プロジェクトで商品化されたワイン

代表質問



緑 風 会
諸 越 裕 議 員
もろこし ひろし



西部第一工業団地の雇用に
ついて

問 当該団地第2期工区が完了した時、立地企業全体ではどの位の雇用が見込めるのか。

答 当該団地は、平成27年10月に第1期工区に分譲を開始し、現在までに分譲企業24社のうち22社が操業しており、昨年10月1日時点で約780名が就業している。

また、第1期工区の今後操業予定の企業と、現在造成中の第2期工区の契約済及び分譲予定企業11社の雇用計画数である約760名を合わせると、約1千540名の雇用数を見込んでおり、未分譲の9区画が完了となった場合は、更なる雇用の増加が見込まれている。



造成中の西部第一工業団地(第2期工区)

ラムサール条約登録の進捗
状況について

問 猪苗代湖のラムサール条約登録への現在の進捗状況は。

答 会津若松市、猪苗代町及び本市の2市1町と県で構成する猪苗代湖環境保全推進連絡会で、条約登録に必要なラムサール条約湿地情報票(RIS)を作成し、3月25日付でRISを環境省へ提出し、4月7日に、環境省からラムサール条約事務局である国際自然保護連合へRISが提出された。

7月には正式な登録となる見込みであり、同月末には、ジンバブエ共和国で開催されるラムサール条約第15回締約国会議(COP15)において、猪苗代湖の当該条約の登録証を2市1町と県それぞれが受ける予定となっている。

代表質問



郡山市議会公明党

おしま 小島 寛子 議員



校内教育支援センターの設置について

問 不登校対応強化のための校内教育支援センターの設置にどう取り組むのか。

答 校内教育支援センターの設置については、今年度、県教育委員会からスペシャルサポートルーム実践校として、小学校2校、中学校3校が指定を受けており、さらに本市では現在、県の指定を受けていない小学校6校、中学校18校、義務教育学校1校が、各校の創意工夫により校内教育支援センターを設置している。また、小中学校15校に14名の学校生活支援員を本市独自に配置し、学べる環境の支援を行っており、今後も不登校児童生徒が出現した場合は、学校内に安心して学習・生活できる環境を整えていく。

医療的ケア児の在宅レスパイト事業について

問 医療的ケア児の在宅レスパイト事業を、本市でも取り組んでもらいたいが見解は。

答 医療的ケア児の在宅レスパイト事業は、医療保険適用外の訪問看護サービスで、訪問看護事業者が児童の介護や見守りを行い、家族の休息時間確保と介護負担の軽減を図るものである。

自宅で医療サービスを受ける安心感や、移動する際のリスクが生じないことから、医療的ケア児やその家庭の状況に応じ、一定のニーズが見込まれると認識しているため、課題を整理し、実施に向けた取組みを進めていく。



代表質問



自由民主党郡山市議団

さしづ 佐藤 栄作 議員



医療機器生産金額について

問 市まちづくり基本指針第8次実施計画の指標の医療機器生産金額は県全体の数値か。

また、現況値の2023年から2030年の828億円増額の目標値達成に向け、どう取組みを展開していくのか。

答 県全体の数値を指標とし、目標値達成の取組みは、ふくしま医療機器産業推進機構と連携し、市内企業を対象に地域連携型医療ビジネス創出事業を実施し、昨年度は医療機器分野へ進出を希望する企業の開拓3件、企業間のマッチング8件等を実施した。今後も産業支援機関等と緊密に連携し、医療分野へ参入を目指す企業等の支援、医療関連産業の振興、集積を図っていく。

放課後児童クラブの夏季教室の試行的開設について

問 行健小学校の教室を利用し、行健・行健第二・日和田小学校の児童を対象に試行的に開設される夏休み限定の児童クラブの受入体制は、1日何時から何時までなのか、また、3校それぞれ何人ぐらいで募集するのか。

答 開設時間は午前7時30分から午後6時30分までとし、平日は1時間の延長利用を可能とする予定である。

また、今回は学校別募集人数は設定せず、3校合計で35名を募集予定で、定員を超えた場合、支援の必要性に応じ、学年や学校で入所優先順位を設定し対応していく。



放課後児童クラブの様子

代表質問



立憲民主党郡山

八重樫 やえがし

小代子 せよこ 議員



少子化対策に係る部局横断・連携の事業推進について

問 急速に少子化が進展する中で、庁内連絡会等のもと、市民の意見等を聴取し、実態に即した事業を進めていく必要があると考えるが見解は。

答 市子ども・若者計画の策定にあたり、昨年度実施したアンケートに寄せられた多くの声を重視し、市長として全庁に周知のうえ、施策に活かすよう改めて指示した。

特に、本定例会に上程している放課後児童クラブの夏季教室の開設は、保護者からの要望を受け止め、この夏休みからの実現を図るものである。

引き続き、部局横断・連携のもと、多様な意見を施策に反映していく。



就職氷河期世代の職員採用について

問 当該世代の市職員への採用について、これまでも代表質問等を行っており、数名が採用されてきたとのことだが、令和5年度と6年度の状況は。

答 中途採用の促進については、令和元年度より、人物重視のSPI試験を一般行政職から順次導入するとともに、令和4年度より、社会人経験者を対象にUIJターンと行政実務経験者の試験区分を新設し、土木などの専門職においても就職氷河期世代が受験対象となるよう対象年齢の引き上げを行うなど、応募機会の拡大に取り組んでいる。

当該世代の採用状況は、令和5年度採用者48名のうち7名、令和6年度採用者50名のうち5名となっている。

代表質問



日本共産党郡山市議団

岡田 おかた

哲夫 てつお 議員



学校教育分野にPFI事業を導入する問題について

問 中学校給食センターにPFI事業を導入してよいのか、再検討すべきと思うが見解は。

答 中学校給食センターを集約・新設するにあたっては、設計、建設、維持管理、運営

を包括的に委託し、民間のノウハウを取り入れた効率のよい施設づくりを行うことで、維持管理等を含めたトータル経費削減とサービスの向上が期待できることから、PFI手法を採用するものである。今後も、同手法のメリットを生かし、安全・安心で栄養バランスが取れた学校給食を、継続的に安定提供できる施設整備を進めていく。



本市の学校給食

生活保護世帯の自家用車の保有について

問 合理的かつ常識的な範囲において保有を認めるべきと思うが見解は。

答 国が定める生活保護法による保護の実施要領において、生活保護世帯以外の世帯との均衡等を考慮し、障がい者の通院等や、公共交通機関の利用が著しく困難な地域に居住する被保護者の通勤及び通院等に利用する場合などには、社会通念上処分させることを適当としないものとして、自家用車の保有を認めるものとしている。

市としても、これら要領に基づき世帯の状況を勘案の上、自家用車の保有の可否を判断しており、今後も国で定める基準等に従い、保有の可否について適切に判断していく。

一般質問



志翔会 本田 ほんだ

豊栄 とよえい 議員



本市カーボンニュートラルへの企業連携について

問 CO₂分離回収実証事業の進捗と今後の企業連携の展望は。

答 令和5年3月に川崎重工業株式会社と締結した協定により、実証試験を富久山クリーンセンターで進め、その成果は、市内企業と本市が活用するビジネスモデルとなっており、本年6月には、同社の固体吸収法を活用し、焼却時に発生するCO₂を分離・回収・燃料化する炭素循環モデルが国の補助採択を受けた。

今年度、CCUS※導入に向け設備設置の準備を進めており、本事業を契機に地域企業と連携し、サーキュラーエコノミー社会の実現と経済の活性化につなげていく。

※CCUS…分離・回収したCO₂を再利用もしくは貯蔵する技術。

河内クリーンセンター再整備について

問 再整備にサーキュラーエコノミー社会の基本思想を反映させるべきでは。

答 河内クリーンセンターで現在行っている発電や廃熱利用に加え、富久山クリーンセンターで実証試験中の回収したCO₂を更に再利用するCCUSの導入をはじめ、ごみを資源と捉えた生ごみなどのバイオマス資源の活用、農業分野での熱源利用など、サーキュラーエコノミー社会を推進する多様な付加価値を備えた施設整備を検討していく。



河内クリーンセンター

一般質問



自由民主党郡山市議団

村上 むらかみ 晃一 こういち 議員



東西の均衡あるまちづくりについて

問 市都市計画マスタープランを踏まえ、市長は東部地区の現状をどう理解し、今後どのように東西の均衡あるまちづくりを実現していくのか。

答 東部地区は本市経済や市民活動を支える重要な地域と認識している。

昨年度から用途地域の見直しに向けた現況調査に着手し、今年度はより具体的な検討業務を実施し、地域の実情に応じた土地利用の見直しを進め、併せて本定例会に上程した条例で既存集落内の規制緩和を行い民間事業者の宅地供給を促していく。

このような公民連携の取組により東西の均衡あるまちづくりを進め、地域の賑わいと魅力創出を推進していく。

トマト黄化葉巻病※対応について

問 トマト黄化葉巻病により安定的生産が見込めない状況の生産者に、必要備品、設備導入への補助金支給などの政策が必要と考えるが見解は。

答 トマト黄化葉巻病は昨年5月に市内東部で初めて確認されたため、昨年11月に研修会を開催し、今年度は拡散状況把握の調査圃設置と薬剤による防除効果確認の実証試験を実施している。

当該病の防除と市内産地維持のため、関係機関と連携し、生産者の要望を踏まえ効果的な支援策を講じていく。



市内で栽培されたトマト

※トマト黄化葉巻病…「タバココロナジラミ」という害虫がウイルスを媒介し発生するもので、伝染性が高く感染した苗は萎縮し、収穫ができなくなる。

一般質問



志翔会

加藤 かとう

漢太 かんだ 議員



ふるさと納税制度の活用について

問 障がい者支援施設製品を返礼品として展開することの実現可能性と、本市にもたらされる多面的なメリットについて見解は。

答 本取組みは、障がい者の働く意欲や収入の向上及び施設の収益の向上が期待されるほか、障がい者支援につながる喜びを寄附者に感じてもらえる機会となるなど、メリットは多岐に及ぶと思われる。今後この取組みが、日々製品作りに励んでいる障がい者にとって、自立した社会生活と働く喜びを実感してもらえ、る仕組みとなるよう、また、将来にわたって定着していただけるよう、各施設の意向等を丁寧に聞きながら、実施に向けた取組みを進めていく。

南川溪谷の歴史的価値と現状認識について

問 歴史的インフラである南川溪谷は、樹木がうつそうとし防犯上の問題がある一方、現在の予算では、年間30本から50本程度の伐採しかできない状況と聞いたが、今後の整備計画について見解は。

答 枯木や倒木の恐れのある高木を優先し、今年度は約1千300万円を掛け80本程度の伐採、除草を予定しているが、補助事業等が適用されず、財源の確保が課題となっている。破損等がある木橋等の修繕は、今年度は吊り橋を予定しており、今後も県や河川愛護会と連携しながら、計画的な維持管理に努めていく。



南川溪谷

一般質問



緑風会

名木 なぎ

敬一 けいいち 議員



大町土地区画整理事業の進捗状況について

問 当該事業の現在の進捗状況と今後の見通しは。

答 令和6年度までの事業費ベースの進捗状況は、全体事業費約86億5千300万円に対し、執行済額は約67億5千500万円、進捗率は約78%となっており、今年度予算には、工事費・補償費・委託料として約9億5千200万円を計上し、更なる事業進捗を図っていく。今後は、ペDESTリアンデツキの延伸整備を令和8年度までに、日の出通り線の道路整備は、令和11年度末の完成を見込んでおり、関連事業全体の完了については、令和14年度を予定している。



現在の大町（日の出通り線）

部活動を理由とする通学区域外就学について

問 隣接学校以外への就学許可や実績証明の弾力的な運用をすべきと考えるが見解は。

答 本市では、児童の個性の伸長に資すると市立中学校就学審査会が判断した場合、就学先の学校変更を認めている。運用にあたっては、特定の学校への生徒集中の防止等の観点から、就学先は就学指定校に隣接する中学校とし、原則5・6年時に体育的・文化的な活動の顕著な実績があることなどを条件としている。今後は、部活動の地域展開の進行と合わせ、地域クラブや地域との連携した活動の状況など、様々な視点での検討が必要であることから、現在の内容を当面維持しつつ、総合的に検討していく。

一般質問



無所属の会

やない
菅内

よしひこ
好彦 議員



市営住宅の連帯保証人制度の廃止について

問 市営住宅の入居に際し、連帯保証人制度を廃止すべきと考えるが見解は。

答 本市では、機関保証の活用や連帯保証人の免除・猶予制度の利用など、連帯保証人の確保が困難な人に配慮した制度の見直しを行っている。

今後、制度を廃止し、単身入居者が亡くなった場合、明渡請求のための相続人調査等に時間を要し、新規入居待ちの人に迷惑がかかる。

また、自分の死後の明渡しに不安がある人には、連帯保証制度等が、将来の不安軽減につながっているため、今後も継続する考えである。



市営住宅

ギャンブル依存症の支援体制について

問 当該依存症に対し本市はどのような役割を担い、どのような支援を考えているのか。

答 現在、ギャンブル依存症専門医療機関は、本市内1か所のみで、相談機関は本市の保健所となっており、昨年度の相談件数は13件である。

切れ目ない支援をするには、相談機関の保健所が個々の状況に応じた適切な支援に確実につなげることが重要であり、相談者から寄せられる不安や悩みにより、経過や現状等を丁寧に聴き取り状況を正確に把握するよう努めている。

また、状況に応じた医師や臨床心理士の相談、専門機関や家族会等の紹介に取組むなど、今後も関係機関と連携し、更なる支援体制強化を図る。

一般質問



日本共産党郡山市議団

えんどう
遠藤

たかし
隆 議員



スタートアップ支援について

問 地域経済活性化のため、本市で起業する若者に対しどのような支援が考えられるか。

答 商工会議所や金融機関等との連携による支援体制を構築するとともに、市社会起業家加速化支援プログラムに参加する若者に、事業ブラッシュアップをはじめとした伴走支援を行っており、今後も起業したい若者を後押しする取組みを積極的に進めていく。

また、本定例会に提出している起業家教育事業では、高校生に対し起業家精神等を習得するプログラムを実施するなど、若者の起業意識の醸成に取り組む。



郡山市創業・事業承継支援情報発信サイト

事業承継支援について

問 やる気のある若者と事業承継を望む企業との間での事業承継支援について、どのように取り組むのか。

答 商工会議所や商工会等と連携支援体制を構築し、事業承継の重要性の啓発などに取り組んでおり、今年度は新たに起業したい若者と事業承継希望事業者とのマッチングを図り、若者が地域の事業を承継し、自身のアイデア等による事業成長に取り組めるよう、本年秋頃を目途に支援体制の構築を進めていく。

今後もスタートアップ支援と事業承継支援との事業間連携、若者の活躍や地元就職などの施策間連携による相乗効果を図り、経済環境の整備に取り組む。

一般質問



志翔会

森合 もりあい

秀行 ひでゆき

議員



投票所来場スタンプの普及促進の工夫について

問 4月の市長選挙から実施された投票所来場スタンプの周知啓発や設置場所などの改善が必要と感ずるが見解は。

答 選挙への関心を高め、投票行動を喚起する目的で試行的に導入したこの取組みは、投票所の外に、スタンプのQRコードを掲示し、誰でも自由にスタンプを取得し閲覧可能とすることで投票済証明の要素を取り除くとともに、広範な選挙啓発を行うツールの一つとして、個人の記念や記録に活用できるよう汎用性を高めるため、電子配布とした。選挙管理委員会としても、事前のPRや投票所での取得方法など改善すべき課題があると認識しているため、今後とも検討を重ねていく。

ラーメンを活かした観光誘客について

問 文化庁100年フード認定の、郡山ブラックをはじめとする魅力ある本市のラーメンを、観光誘客の一つの柱としていくべきと考えるが見解は。

答 本市のラーメンは郡山の食の魅力強く印象付ける重要な観光資源と認識している。来年4月には、ふくしまDC※を迎えるため、関係団体と連携を図るほか、首都圏での物産販売等において郡山ブラックの認知度向上等を進めるなど、ラーメンを活かした観光誘客等を図り、持続可能な地域経済の発展を目指す。



市民に親しまれる郡山ブラック

※ふくしまDC：ふくしまステイネーションキャンペーンのこと。JRグループと県・市町村・地元観光事業者等が一体となって、各地域の魅力を発信する観光キャンペーン。

一般質問



新政会

會田 あいた

一男 かずお

議員



東山悠苑の施設改修等について

問 今後の施設改修あるいは建て替え等について、どのように考えているのか。

答 東山悠苑は、平成3年4月の供用開始から34年が経過しており、市公共施設等総合管理計画個別計画に基づき、施設の在り方、方向性を検討するなどし、令和5年12月に施設長寿命化計画を策定した。同計画では、建屋の大規模な躯体改造は行わず、火葬炉設備更新による機能向上や待合室増設により、利用者の混雑緩和に努めるとともに、電気設備等改修により、耐用年数を建築後最大80年、令和53年まで延ばす予定である。



現在の東山悠苑

通学路安全対策事業の今後の計画について

問 現在予定の対策を講じるべき危険箇所への対応が一通り完了するまで、どの程度の時間がかかる見込みか。

答 本市が行う路面標示やグーラインベルト、交差点のカラー化等の交通安全施設は22か所あり、令和8年度に完了見込みであるが、歩道の設置は6か所あり、そのうち一部用地の協力が必要なことから、数年の期間を要する見込みとなっている。国、県などが実施する対策は44か所あり、状況によって数年の期間を要する見込みとなっており、今後も関係機関と連携しながら、通学路のより一層の安全性の向上を図り、児童生徒の交通事故防止に努めていく。

一般質問



志翔会 久野 ひさの

三男 みつお 議員



ヒューマンエラーの防止策としての業務改善について

問 ヒューマンエラーを未然に防ぐためには作業環境の改善が必要と考えるが見解は。

答 ヒューマンエラーの防止策として、各所属での明瞭なマニュアル作成やダブルチェック体制構築に加え、課長職以上を対象としたコンプライアンス・事務ミス防止研修などを通じて、心理的安全性の確保やコミュニケーションの活性化など、職員が安心して発言できる職場環境づくりを行っている。

さらに、AI活用などDX化により業務の省力化・効率化を図りヒューマンエラーの未然防止に努めており、今後その対策の継続的な実施、見直しを図り、更なる業務改善に努めていく。

郡山駅西口の整備に向けた様々な意見の聴取について

問 現場のバス運転手や交通指導員、駅利用の市民等の意見を大切に聴くべきと考えるが見解は。

答 市総合都市交通戦略協議会において、福島交通株式会社、福島交通労働組合、郡山地区ハイヤータクシー協同組合、福島県バス協会及び東日本旅客鉄道株式会社など様々な関係者からの意見を聴いている。

今後、郡山駅西口ロータリーのあり方について、協議会や、バス・タクシー運転手、市民の意見を丁寧聴き短期、中期、長期対策の検討を進めていく。



郡山駅西口ロータリー

一般質問



れいわ新選組

ふるやま 古山

唯 ゆい 議員



障がい児保護者の負担軽減について

問 障がい児通所支援施設送迎エリア外の場合、保護者が自ら送迎する場合もあるため、事業所が送迎エリアを拡大、または新たに送迎実施を要件に送迎用車両購入等の補助を行い、保護者の送迎負担軽減を図るべきと考えるが見解は。

答 障がい児通所支援施設の送迎については、国告示により給付費の送迎加算が既に手当てされている。

また、施設の送迎実施や送迎エリア設定は各施設が利用者の状況等を踏まえ判断すべきと認識しており、現段階で補助等を行う考えはないが、保護者の負担軽減については保護者や事業者の実態や意向確認とともに他自治体の動向調査など情報収集に努める。

会員が利用しやすい仕組み作りについて

問 ファミリーサポート※センターの会員増加のため、面談や研修のオンライン化対策をしてはどうか。

答 面談オンライン化は、双方の雰囲気など細かい情報が十分につかめず、信頼関係が築けないままの活動となる可能性があり、可否について十分な検討が必要と考えている。研修オンライン化も、ごどもの命を預かる行為に対する研修のため慎重な判断が必要と考えているが、研修内容に応じた可能な場合は導入するなど検討を進めていく。



ファミリーサポートセンター

※ファミリーサポート：子どもを預かってほしい人と子どもを預かることができる人がそれぞれ会員となり、お互い信頼関係を築きながら子どもを預けたり預かったりする活動。

一般質問



立憲民主党

吉田 よしだ

公男 きみお 議員



開成山公園利用者に係る指定
管理事業者の報告値について

問 指定管理者の報告では、年間利用者推計値が478万9千864人と県の人口の2倍となっており、市の推計値よりも304万人過大であるが、市は指定管理者の報告値について、どのように評価しているのか。

答 指定管理者の報告値は、同者が契約するビッグデータを活用し、公園推計利用者の延べ人数に20歳未満の推計値を加算したものである。

市の推計値は、市が契約する別のシステムを用いており、実人数での算出のほか、20歳未満の人数は含まれない。

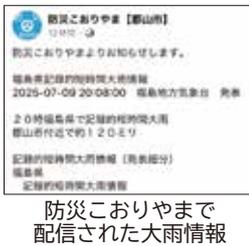
いずれも、対象範囲や条件設定等の誤りは確認できないため、現時点では指定管理者が契約するシステムで得られた推計値と認識している。

予想される降雨量について

問 市下水道雨水管理計画の計画降雨量は時間雨量で、広範囲の流域に及び長時間豪雨による外水被害を伴う大規模災害には対応できないのではと考えるが、東日本台風のような280mmを超える最大降雨量のように、2日間降雨量ほどの程度と予想しているのか。

答 公共下水道は、排水区内の雨水を公共水域へ排除するための施設で、日本下水道協会の「2019年版下水道施設計画・設計指針と解説」に基づき、5〜120分間の短時間の降雨モデルを採用することとされている。

ことから、2日間降雨量は想定していない。



一般質問



新政会

栗原 くりはら

晃 あきら 議員



内部統制※制度の導入について

問 市民に対する市政の透明性と信頼性を高めるためにも導入すべきと考えるが見解は。

答 令和2年の地方自治法改正で、制度導入が努力義務とされたことを受け、令和3年以降、先進地視察等を行うなど、導入の検討を進めてきた。制度の導入は、適正な業務執行やマネジメントの強化等、組織目的を達成するために一定の効果がある一方、制度にも限界があることや、制度として導入した場合、職員の事務負担が大幅に増加する等の懸念もあることから、本市の状況に最適かつ効果的な取組みについて模索するなど、引き続き調査検討を進めていく。

※内部統制：地方自治体の組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。

学校給食の安全性について

問 オーガニック給食への取り組みを始める考えはあるのか。

答 学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、本市においても、学校給食衛生管理基準等に基づいて、鮮度の良い衛生的な食材を購入し、安全・安心な給食を安定的に提供している。オーガニックは有機と同義

で、有機農産物は、有機農産物の日本農林規格（有機JAS規格）の基準に従って生産された農産物と定義されており、有機農産物が、質が良く、安価で、必要量を安定的に供給できるのであれば、学校給食での使用を検討していく。



一般質問



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



誘客増加に向けた本市の取組みについて

問 ふくしまDC本番に向け、今年度はどう誘客を図るのか。

答 プレイバントとして4月のオープニングセレモニーや5月の全国宣伝販売促進会議が盛大に開催され、同会議の観光商談会では、新コンテンツの紹介など魅力を発信した。また、特別企画として、こおりやま御朱印めぐりや、湯けむり地酒さんぽなどを行い好評を得た。

これまで実施した事業の磨き上げを行い「また訪れたい」と思ってもらえるよう、おもてなしの質の向上を図り、選ばれるまちの実現に全力で取り組んでいく。



全国宣伝販売促進会議

かわまちづくり事業を推進する団体の設立について

問 徳定川の環境整備への支援制度活用のため、市や地元住民等で構成する組織を設立し、計画策定すべきと考えるが見解は。

答 かわまちづくり支援制度は、河川空間とまち空間が融合し、地域活性化に資する良好な空間形成を目指す取組みを支援する国の制度で、市町村を構成員に含む法人格のない協議会等が推進主体として、計画を作成し、申請、登録すること等が必要となる。

本市が河川管理者の徳定川の整備は、大学、企業、地元町内会が一体となり活発に活動する古川池愛護会の意見を聞きながら、本制度活用を含め環境整備の実施手法について検討していく。

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時まで ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時まで ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。	●陳情書の写しを各議員に配付します。
提出方法	1. 文書による提出 2. オンラインによる提出（郡山市オンライン申請サービス、電子メール）	

請願書

年月日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名)※
(紹介議員)

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要

紹介議員は
不要

陳情書

年月日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名)※

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

※文書による提出の場合、氏名は、署名又は記名押印が必要です。

議会PDCAサイクル 令和6年度対象事業の評価をまとめました



各常任委員会において、対象事業に関する進捗報告の聴取と評価を実施するPDCA※サイクルに取り組んでおります。本定例会で対象事業の評価を取りまとめましたので報告します。

※PDCA：計画 (Plan) → 実行 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action) の4段階を繰り返し、業務を改善する手法

常任委員会	令和6年度対象事業とその評価
総務財政 常任委員会	◆旧豊田貯水池利活用事業 園路上の設置看板や堤内側の除草状況などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
	◆（仮称）郡山市歴史情報・公文書館施設整備事業 MLA連携※や学芸員の雇用体系などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
	◆衛星AI活用型漏水調査事業 費用対効果や漏水・非漏水の判別方法などの質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
建設水道 常任委員会	◆ため池防災・減災事業 ため池の堆積土砂の掘削方法及び保管状況について質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
環境経済 常任委員会	◆地域障害児支援体制強化事業 すくのみ巡回相談の相談内容などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。
文教福祉 常任委員会	◆こども誰でも通園制度 家庭における保育負担軽減に係る成果などの質疑を交わし、年度内の事業が、事業計画に基づき適正に実施されたものと評価しました。

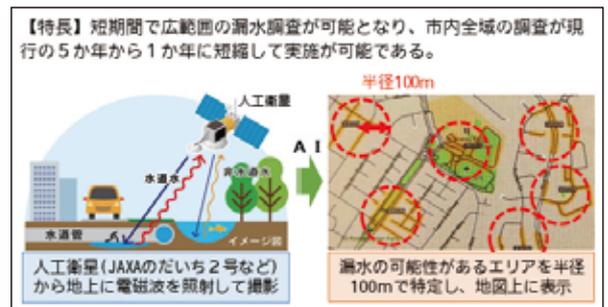
※ MLA連携 … 博物館 (Museum)、図書館 (Library)、文書館 (Archives) の連携の略称。それぞれの共通点を組織の枠をこえて連携する。



文学の森資料館との通路が整備された旧豊田貯水池



3月15日にオープンした郡山市歴史情報博物館



衛星AIを活用した漏水調査方法

議員表彰

■ 議員30年以上表彰

八重樫 小代子 議員

全国市議会議長会定期総会で、地方自治発展への尽力に対し、当該議員が表彰され、6月定例会の初日に議長から表彰状が伝達されました。



議長から表彰状の伝達を受ける八重樫議員

芳山小学校が 議場見学を行いました

芳山小学校の6年生51人が議場見学を行い、議員から議会の役割や仕組みについて説明を受けました。

その後、児童が市長役・議長役・議員役に分かれ、児童が身近に感じている議案を提案し、本番さながらの電子採決を体験しました。



市長役の提案理由を聞く児童

第144回ホールコンサート in 郡山市議会

第144回ホールコンサートが議場で開催され、ヴァイオリンとピアノの共演による初夏の優しい旋律が議場を満たし、訪れた人々を魅了しました。

議場でのコンサートは3回目の実施となりますが、プロの演奏者による演奏は初めての試みとなりました。

議員席も傍聴席も満席になり、市民に議場を身近に感じてもらえる良い機会になりました。



ヴァイオリンとピアノで共演する演奏者

議場を見学しませんか？

広聴広報委員会に所属する議員による議場内の紹介や議会についての説明により、議会を身近に感じていただくことができます。

1 市議会のはなし

議会制度や議場設備について、議員が説明します。



議会制度についての説明を受ける参加者

2 模擬議会の体験

参加者が考えた議案を提案してもらい、電子採決をするなどの体験ができます。

3 議場内の施設見学

議長席や質問台、傍聴席などを間近で見学できます。

4 質疑応答

普段疑問に感じている議会のこと、議員のことなどを気軽に質問できます。



議員に質問をする参加者

見学の受付は
こちらから！



会派名は、令和6年度末時点のものです。
 ※支出内訳中、広聴費、要請・陳情活動費、会議費及び人件費については、全会派0円のため省略しています。



収支報告書

(単位：円)

支出内訳				差し引き額 【市への返還額】	会派執行率 (%)
資料作成費	資料購入費	事務所費	通信運搬・ 自動車燃料費		
249,252	879,066	1,620,156	434,890	2,363,705	82.09
55,478	598,176	222,185	518,961	6,168,779	42.88
17,323	192,387	319,986	275,525	1,196,315	75.08
181,024	195,880	101,470	164,467	265,932	94.46
0	234,000	105,600	31,227	3,229,173	10.30
0	34,068	7,260	0	663,572	72.35
2,390	74,316	10,668	0	272,366	88.65
0	218,008	19,118	0	962,874	19.76
0	0	0	0	1,200,000	0.00
1,964	0	0	0	219,586	81.70
507,431	2,425,901	2,406,443	1,425,070	16,542,302	63.72

政務活動費とは？

議員の調査研究などに必要な経費の一部として、会派に対し交付されます。

■ 交付概要

会派に対し、議員一人あたり月額10万円が交付されます。

■ 収支報告

会派は収支報告書等を作成し、領収書等を添付して、議長に提出します。

また、残金は市へ返還します。

■ 情報公開

収支報告書や領収書等は市議会ウェブページで公開します。

また、市政情報センター（本庁舎1階）または議会事務局（西庁舎6階）でも閲覧することができます。



議会を傍聴してみませんか



本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。本会議、常任委員会の会議開始は通常午前10時です。



	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30分前から	会議開始 40分前～20分前
定員	74人 ※先着順	各委員会15人 ※定員を超えた場合は抽選

令和6年度政務活動費収支報告

会 派 名		会派への 交付額	支 出 額	支 出 内 訳		
				調査研究費	研修費	広報費
志翔会	(11人)	13,200,000	10,836,295	1,517,880	2,113,820	4,021,231
新政会	(9人)	10,800,000	4,631,221	464,240	834,420	1,937,761
郡山市議会 公明党	(4人)	4,800,000	3,603,685	16,000	1,096,990	1,685,474
緑風会	(4人)	4,800,000	4,534,068	895,360	0	2,995,867
自由民主党 郡山市議団	(3人)	3,600,000	370,827	0	0	0
日本共産党 郡山市議団	(2人)	2,400,000	1,736,428	0	0	1,695,100
立憲民主党郡山	(2人)	2,400,000	2,127,634	0	0	2,040,260
無所属の会	(1人)	1,200,000	237,126	0	0	0
立憲民主党	(1人)	1,200,000	0	0	0	0
れいわ虹の会	(1人)	1,200,000	980,414	0	0	978,450
合 計		45,600,000	29,057,698	2,893,480	4,045,230	15,354,143

9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
			9/3	4	5	6
			本会議（開会）	議案調査		休会
				※陳情締切		
7	8	9	10	11	12	13
休会	事務整理日 (休会)	本会議（市政一般質問）				休会
		※請願締切				
14	15	16	17	18	19	20
休会	休会	常任委員会		事務整理日 (休会)	本会議 (補正予算等先議)	休会
21	22	23	24	25	26	27
休会	決算議案書熟読日 (休会)	休会	決算議案書熟読日 (休会)	決算議案書熟読日 (休会)	決算特別委員会	休会
28	29	30	10/1			
休会	決算特別委員会		本会議（閉会）			

- ・正式な日程は、定例会初日に決定します。
- ・本会議の様子はYouTubeの市議会チャンネルからライブ中継します。
- ・ライブ中継は、各行政センターのテレビでも御覧いただけます。
- ・ライブ中継後は、タイムラグなくアーカイブ視聴できます。

市議会中継



議会モニターを募集します！

■議会モニターとは？

開かれた議会を目指し、市民の意見や提言を広く聴取するものです。

■職務

- ①本会議の傍聴または視聴に基づく意見提出
- ②議会だより及び市議会ウェブページへの意見
- ③市議会議員との意見交換 など

■募集人数…14名

モニターに決定した方には、9月末までに文書でお知らせいたします。

■応募締切…9月19日(金)

■その他…報酬はありません。

お問い合わせは議会事務局(下記連絡先)まで。

皆様の御応募をお待ちしています！



対 象

次の4つを全て満たす方が対象です。

- ◇18歳以上の方
- ◇市内に居住または市内の学校に在籍している方
- ◇公務員、各種議会議員、各種行政委員ではない方
- ◇市議会のしくみや運営、市政や地域社会の発展に関心がある方

議会モニター 応募用紙

【応募先】郡山市議会事務局 総務議事課 TEL:024-924-2521 FAX:024-938-2810
メール:soumugiji@city.koriyama.lg.jp



QRコードから応募できます

住所	〒				
ふりがな		性別	任意記載 男・女	年齢	歳
氏名					
学生の場合 学校名		電話番号			
確認事項	<p>該当する項目に✓チェックを入れてください。</p> <p><input type="checkbox"/>公務員、各種議会議員、各種行政委員ではありません。</p> <p><input type="checkbox"/>市議会のしくみや運営、市政や地域社会の発展に関心があります。</p>				

御記入いただいた個人情報は、郡山市議会モニター制度以外の目的には一切利用しません。

編集 後記

表紙写真は、6月定例会の開会日に開催した「第144回ホールコンサートin郡山市議会」の一場面であり、このコンサートは、市民に開かれた議会を目指して実施してきた取組みの一つになります。プロの演奏家によるヴァイオリンとピアノの二重奏は、議場をコンサート会場のような楽しい雰囲気の中で包んでくれました。6月定例会は、椎根新市長にとって初めての議会となり、議員の質問には新たな取組みを提案する内容が多く見られ、市長と共に新しい時代の郡山をつくっていかうという議員の心意気が感じられました。(岡田)

市議会だよりに対する御意見、御感想は議会事務局総務議事課まで
TEL024-924-2521 メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp
印刷/株式会社やまと印刷
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

紙へリサイクル可



古紙/パルプ配合率60%再生紙を使用



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。